

令和4年度 伊勢崎市佐波郡中体連総合体育大会剣道大会要項

1. 主催 伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟 伊勢崎市教育委員会 玉村町教育委員会

2. 後援 伊勢崎佐波剣道連盟

3. 日時 令和4年7月16日(土) 男子団体戦、女子個人戦
男子団体 集合・開館 8:00 開会式 9:20
女子個人 集合 13:00 開会式 13:50 解散 16:30
7月17日(日) 女子団体戦、男子個人戦
女子団体 集合・開館 8:00 開会式 8:50
男子個人 集合 13:00 開会式 13:50 解散 16:30

4. 会場 玉村町社会体育館
佐波郡玉村町大字上之手1517 0270-65-6699・6537

5. 大会役員

部長	関口 雅晶 (玉村中)		
副部長	佐藤 昭宏 (玉村中)		
委員長	真下 東 (宮郷中)		
副委員長	日暮 由貴 (三中)	茶畑 匡仁 (二中)	
委員	岡田 明子 (三中)	上原 康暉 (四中)	須田 涼子 (殖蓮中)
	大島 之佳 (殖蓮中)	涌沢 直行 (宮郷中)	星野 誠 (赤堀中)
	武 雅彦 (あずま中)	関 珠那 (あずま中)	秋山 俊樹 (境南中)
	菅原 晃子 (境南)	竹内 博利 (四ツ葉中)	後藤 淳 (四ツ葉中)
	大久保智史 (玉村中)	勅使河原章雄 (玉村中)	
事務局	茶畑 匡仁 (二中)	真下 東 (宮郷中)	
会計	茶畑 匡仁 (二中)		
報道	日暮 由貴 (三中)		

6. 競技役員

進行 涌沢 直行 日暮 由貴 茶畑 匡仁 真下 東
コート作成 ①武 雅彦・上原 康暉 ②星野 誠・大久保智史
~~検 量 竹内 博利 星野 誠 大久保智史 茶畑 匡仁~~
検量は行いません。各校が責任をもって検査をお願いします。

試合場係 ①須田 涼子・秋山 俊樹・武 雅彦
②岡田 明子・上原 康暉・後藤 淳

本部記録・賞状 日暮 由貴

接待・受付 大島 之佳・勅使河原章雄・関 珠那

救 護 16日(土) 國安友紀恵(看護師)、17日(日) 國安友紀恵(看護師)

審 判 員 伊勢崎佐波剣道連盟審判員

高体連・小体研審判員(神沢、田代、柴崎、近藤、小林、小此木、定方)
中体連審判員(涌沢、大久保、茶畑、真下、竹内、星野)

コート作成係生徒 ①あずま中 ②赤堀中・玉村中

試合場係生徒 伊勢崎佐波中学生

7. 部活動指導員

羽鳥 晃(殖蓮中) 本木 弘章(二中)

8. 参加資格

伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟に加盟した学校に在学し、当該学校長の参加許可を得た生徒であること。

9. 監督・引率

参加選手の監督・引率は、出場校の校長・教員・部活動指導員とする。

10. 参加制限

○団体戦 ー 男女各1チーム(正選手5名・補員2名)

○個人戦 ー 男女各校団体戦登録選手および3年生

(市郡春季大会ベスト4のシード選手のいる学校は、シード選手の人数分だけ枠が増える)

1 1. 競技規則・競技方法

(1) ○団体戦

- 男女とも、予選リーグ、決勝トーナメントを行う。(男10チーム、女子9チーム)
- 予選リーグは、男子は2校リーグ、3校リーグを行い、各リーグ上位2校による決勝トーナメントを行う。女子は4校リーグと5校リーグを行い、各リーグ上位2校による決勝トーナメントを行う。※市郡春季大会ベスト4の学校を、市郡総体のシード校とする。
- 3分3本勝負。決しないときは引き分けとする。
- リーグ戦での各試合の勝敗は、勝者数→総本数の順で決め、すべて同数の場合は引き分けとする。
- リーグ戦の順位は、勝ち数(勝ち1、引き分け0.5)→勝者数→総本数の順で決め、すべて同数の場合は代表者戦を行う。代表者は任意で、3分1本勝負とし、決しないときは延長戦を勝敗の決するまで行う。ただし、三すくみの場合は3分3本勝負とし、延長戦は1本勝負で勝敗の決するまで行う。なお、延長戦は2分きざみとし、2回行うごとに3分程度の給水時間をとる。
- 決勝トーナメントの勝敗は、勝者数→総本数の順で決め、すべて同数の場合は代表者戦を行う。代表者は任意で、3分1本勝負とし、決しないときは延長戦を勝敗の決するまで行う。ただし、延長戦は2分きざみとし、2回行うごとに3分程度の給水時間をとる。

○個人戦

- トーナメント戦。
- 3分3本勝負。勝敗が決しないとき、延長戦を決するまで行う。ただし、延長戦は2分きざみとし、2回行うごとに3分程度の給水時間をとる。

(2) 大会細則

- 突き技は禁止とする。
- 上段はとらせない。(隻腕については、その都度協議する。) 二刀は使用させない。片手技は有効打突としない。無理押しはしないこと。
- サポーターなど(足袋・テーピングを含む)の使用については、試合場係の先生に届けてオーダー表に記入してもらうこと。両足可。ゴムや革およびすべり止めを底にはった物などは禁止。指先単独でのテーピングは届け出不要とする。
- 防具・剣道着・袴の着装をきちんとすること。面紐の長さは、結び目から40cm以内(長い場合は切る)。面の乳革は黒・紺とする。また、面金を黒塗りにするなど通常の配色でない面は使用しない。胴紐はほどけないようにする。小手紐はきちんと結ぶ。お守りなどの付属品はつけない。竹刀は3尺7寸以下を使用する。重さは男440g、女400g以上とし、先端部最小直径(男子25mm以上・女子24mm以上)、ちくとう最小直径(男子20mm以上・女子19mm以上)が基準に満たない物の使用は禁止する。鏢(つば)の色は革色、白色のものを使用する。透明色は認められずその場で取り替えさせる。
- 選手の名札は、校名を上横書き、名字を縦書きにし、垂れにつける。
- 団体戦に4名で出場の場合は次鋒が、3名で出場の場合は次鋒・副将が不戦敗となる。
- 試合中は、面マスク・マウスガードを着用する。面マスクは鼻まで覆うこと。
- ※その他は、全日本剣道連盟剣道試合・審判規則および、全日本剣道連盟による「主催大会実施にあたっての感染拡大防止ガイドライン」「暫定的な試合審判法」に準ずる。

(3) 申し込み方法

7月6日(水)までに事務局宛に選手名簿データを送信する。また、大会初日に職印を押した選手名簿を提出する。※事務局に送ったデータを決定とし、提出する選手名簿がそれと異なることのないようにすること。

(4) その他

- 監督および審判の服装は、紺のブレザー・白のワイシャツ・えんじのネクタイ・グレーのズボン・紺の靴下に準じたものとする。(全日本剣道連審判員服装規定に準じる。)ただし、総体は熱中症予防の観点から半袖ワイシャツ、ノーネクタイとする。
 - 決勝戦は伊勢崎佐波剣道連盟・高体連・小体研・中体連の先生方に審判をお願いする。
 - 表彰 団体は1位～3位、個人は1位～3位及び敢闘賞に賞状を与える。
団体戦優勝・準優勝チームには、優勝旗・準優勝杯を与える。
(前年度優勝校は優勝旗、準優勝校は準優勝杯の返還を行う。)
- 男子：①あずま中 ②赤堀中 女子：①あずま中 ②境南中

④各校はオーダー表(B4用紙2枚を貼り合わせたもの)を当日に提出する。

○	先	次	中	副	大
○					
中					

※女子は学校名を赤で記入する。

- 本大会は新型コロナウイルス対策の一環として、市郡春季大会と同程度の対策を行う。保護者の入場は登録選手の保護者1名のみとする。
- 送迎、駐車場等での事故やトラブルについては、一切の責任を負えませんので十分ご注意ください。